



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB



No.339 2018

鹿児島ワイズメンズクラブ 9月号

国際会長 : Moon Sang Bong [韓国] Yes, we can change. 「私たちは変えられる」
アジア会長 : 田中博之 [東京多摩みなみ] Action 「アクション」
西日本区理事 : 遠藤通寛 [大阪泉北] Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.
「未来に残すべきものを守り育てる」
九州部部长 : 上村真智子 [熊本ジェーンズ] Let's become the Y's Men to convey the charm
of Y's, the power of Y's, the activities of Y's.
「ワイズの魅力を、ワイズの力を、ワイズ活動を伝えるワイズメンになろう!」



鹿児島クラブ会長 松永 英明 「楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!!」

第37回 九州部部会報告

標記の部会が去る9月1日(土)の午後から夜にかけて、「ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ」で開催されました。遠くは北海道十勝クラブ山田敏明ワイズ(アジア大会実行委員長)、西日本区遠藤通寛理事(大阪泉北)をはじめ、各地から200人を超える参加者があり、大変盛会でした。鹿児島クラブからは松永会長と、松若、中堀、徳田、山下、園屋の6人が参加しました。

部会ではまずメネットアワーが行われ、社会福祉法人慈愛園理事長潮谷義子さん(前・熊本県知事、前・長崎国際大学学長)が、「共に生きる」というテーマで講演されました。潮谷さんはいろいろな活動や経験を元に、共生社会の大切さをお話しされました。「現代は子どもに優しい世界ではなくなっている。子どもを大事にすること、子どもが人間らしく育てられる権利を守ることが必要で、そのことが国の未来を左右する。」というような趣旨のことが、私には特に印象に残り、感銘を受けました。

続いて行われた部会式典では、バナーセレモニー、九州部長上村真智子ワイズ(熊本ジェーンズ)や来賓の挨拶の後、今年設立された「熊本五福ワイズメンズクラブ」のチャーターナイトがあり、熊本では12番目、九州では18番目に設立された新クラブの門出を参加者全員で祝いました。

部会ではこのほかSTEP事業により、カナダで交流体験された中村晃士さん(宮崎クラブコメット)の報告がありました。ワイズメンズクラブの青少年への具体的な支援活動の一端を知ることができ、部会の場で報告されるのはいいことだと思いました。

式典の後には恒例の懇親会が行われました。京都トゥービーバンドと熊本ジェーンズバンドによる生バンド演奏のほか、お楽しみ九州劇団による演劇がありました。入佐孝三ワイズ(熊本むさし)が大河ドラマ「西郷どん」に合わせて書かれた脚本の劇で、西郷役の我が中堀ワイズはじめ西日本区や九州部役員が熱演し、会場は大変な盛り上がりでした。

また部会には鹿児島クラブとDBCを締結した宝塚クラブの石田由美子ワイズも参加され、親睦を深めることができました。
鹿児島ワイズメンズクラブ:園屋 高志



▲九州部18クラブによる
バナーセレモニー



▲熊本五福クラブの認証状伝達式



▲熊本ジェーンズクラブ 金澤ご夫婦と
宝塚クラブ 石田ワイズと記念撮影

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

会長通信

03

鹿児島クラブ会長 松永 英明

楽しもう鹿児島クラブ! 輝こう鹿児島クラブ!

朝晩が涼しくなってきましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

台風・地震に見舞われました被災者にお見舞いと1日も早い復興を祈願致します。クラブとしましては、YMCAを通じて微力ながら募金で協力させていただきたいと考えております。

今月は、1日土曜日ANAクラウンプラザホテル熊本におきまして九州部部会が開催されました。西日本区遠藤理事をはじめ役員の皆様、九州部以外からも多数のご出席をいただき大いに盛り上がり素敵な部会でした。ご出席いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、上村九州部部長が掲げています「ワイズの魅力を、ワイズの力を、ワイズ活動を伝えるワイズメンになろう!」の主題に応えるために、個々の果たすべき役割、クラブの果たすべき役割を再確認していただけたのではないのでしょうか。ひとりひとりが当事者意識を持ち、積極的に議論を交わせる鹿児島クラブを共に築いていきましょう。

最後に、季節の変わり目です。体調が少しでもおかしいなと思ったら、すぐにかかりつけの病院に受診しましょう。早め早めのケアが大切です。体調管理には十分気をつけてください。

理事通信

03

西日本区理事 遠藤 通寛

未来に残すべきものを守り育てる

処暑を過ぎまいした。地藏盆も終わり夜明けも少しずつ遅くなってきました。

ボランティア活動をしている最中に聞こえる蝉の声も「つくつくぼうし」に変わってきました。

豪雨災害に遭われた真備地区は道路わきの至るところに家財道具が積み上げられています。其処かしこでボランティアの皆様が活動されていました。

韓国の麗水にて国際大会が開催され盛会のうちに終了しました。3,000人程の参加があったようです。

大会に先立ち行われたアジア・パシフィック会議に於いて、西日本平成30年7月豪雨災害に対し、N D E R F 資金より西日本区に対しUS5,000の支出がありました。

また、台湾区では135万円の募金が集まっている旨の報告があり、タイでも募金活動をされているとの報告がありました。本当にありがたいことです。

大会にて参加者のうちワイズ歴50年以上の方が表彰されましたが、西日本区では神谷尚孝ワイズ(和歌山クラブ)が表彰されました。





今月の樹

クルミ(胡桃、山胡桃)

クルミ科クルミ属の落葉高木の総称。木材としてはウォールナット。原産地はヨーロッパ南西部からアジア西部とされ、北半球の温帯地域に広く分布する。樹高は8メートルから20メートルに及ぶ。日本に自生している胡桃の大半はオニグルミといい、核はゴツゴツとして非常に硬く、種子(仁)が取り出しにくい。なお、クルミとして利用されるのはクルミ属の植物の一部にすぎない。生産はアメリカ・カリフォルニア州と中国が多い。日本では長野県東御市がクルミの生産量日本一である。5月から6月にかけて開花し、その後に直径3cm程度の仮果と呼ばれる実を付ける。仮果の中に核果があり、その内側の種子(仁)を食用とする。脂質が実全体の70%を占めている。また、ビタミンEを始め様々なビタミンやミネラルが豊富に含まれており、非常に栄養価の高いことでも知られる。食用としての利用は古く、紀元前7000年前から人類が食用としていたとも言われている。日本では縄文時代から種実の出土事例があり、オニグルミを中心に食料として利用されていたと考えられている。文献資料においては『延喜式』に貢納物のひとつとして記されているほか、『年料別貢雑物』では甲斐国や越前国、加賀国においてクルミの貢納が規定されており、平城宮跡出土の木簡にもクルミの貢進が記されている。(ウィキペディア参照)

8 定例会報告
Regular meeting report

日時：平成30年8月28日 火曜日
場所：ジェイドガーデンパレス
出席者：11名
司会者：中堀ワイス

8月例会の記録	クラブ在籍者	14名
	出席者	11名
	メネット	1名
	ゲスト	0名
	ビジター	0名
	メイクアップ	0名
	8月出席率	78.6%

3000円

献金有難う
もしやげます。

8月 合計金額 **¥5,240**

2018

9月の聖句

「しばらくするとあなたがたは、わたしを見なくなります。しかし、またしばらくするとわたしを見る。」「わたしは父のもとに行くからだ。」とわたしが云ったことについて、互いに論じ合っているのですか。まことに、まことにあなたがたに告げます。あなたがたは嘆き悲しむが、しかし、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。
ヨハネ福音書16-16 (わたし=イエス・キリスト)

鹿兒島ワイズメンズクラブ

チャータ 1990年2月12日
事務所 〒890-0056
鹿兒島県鹿兒島市下荒田3丁目43-7 1F
鹿兒島YMCA内
定例会 毎月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス
企画例会 毎月第2火曜日 場所：珈琲館かみむら
(時間は企画例会・定例会とも19:00~21:00まで)

10月 企画例会
日時：10/9 (火) 19:00~21:00
場所：旧かみむら珈琲館

10月 定例会
日時：10/23 (火) 19:00~21:00
場所：ジェイドガーデンパレス

YMCA事業活動報告

チアダンスサマーキャンプ2018

[8/23(木)~25(土)]

参加者145名。スタッフ9名で参加した2018年のチアダンスサマーキャンプ。

台風の心配もされましたが、直撃は免れ、天候は3日通して晴天に恵まれました。小学1年生から高校1年生まで幅広い年齢層の参加者が集まり、3日間チアダンスやレクリエーション活動を行い、技術だけでなくチームワークや奉仕の精神をみんなで体験し学ぶことができました。



YMCA事業活動報告

キャンプ探検隊2018

日にち	内 容	場 所	募集×切	チラシ配布	実施・予約状況
① 5/19(土)	手作りオープンでピザ作り!	鹿児島市立少年自然の家	5月13日	5月中旬	4名 終了
② 6/2(土)	ニュースポーツで大運動会!	宮川野外活動センター	5月27日	→市内22校に配布済み	5名 終了
③ 7/7(土)	力を合わせてカヌーにチャレンジ!	南薩少年自然の家	6月21日		20名
④ 10/20(土)	秋のアウトドアクッキング	鹿児島市立少年自然の家	10月15日	9月中旬	—
⑤ 11/11(日)	火おこしにチャレンジ!自然体験デイキャンプ	南薩少年自然の家	10月25日		—
⑥ 12/26(水)-27(木)	チャレンジ!ウィンターキャンプ	鹿児島市立少年自然の家	12月10日		—
⑦ 2019/1/13(日)-14(月祝)	エンジョイ!ウィンターキャンプ	霧島自然ふれあいセンター	12月21日	11月下旬	—
⑧ 2019/2/17(日)	春のアウトドアクッキング	鹿児島市立少年自然の家	2019/2/12		—
⑨ 2019/3/26(火)-28(木)	いおうじまを大冒険!スプリングキャンプ	冒険ランドいおうじま	2019/2/26		—

「力を合わせてカヌーにチャレンジ!」報告 [7/7(土)]

参加者18名(会員:1名、非会員:17名)、スタッフ2名+ボランティア1名での対応。
大雨でしたが、施設への安全性の確認などを踏まえて予定通り開催しました。
天候不良でメインのカヌー体験が出来ませんでしたが、協力ゲームやレクリエーションなどを行いました。

2学期以降の企画に関して

9月にチラシが出来上がり次第、鹿児島市内を中心に小中学校に送付予定。

11/11(日)「火おこしにチャレンジ!自然体験デイキャンプ」が子どもゆめ基金の補助金交付が決定。



YMCA事業活動報告

なつやすみわくわくカレッジ 2018

定員各日10名。1日単位での参加、週単位での参加も可。最少催行人数は2名。

	日にち	活動内容	場 所	昼 食	予約状況
低学年	7/23 (月)	どんぐりトトロペン立て作り	つむぐ場	お弁当	3名
	7/24 (火)	竹水鉄砲・空き缶ぼっくり作り			3名
	7/25 (水)	ペットボトルビーズ・万華鏡作り			中止
	7/26 (木)	ネイチャーモビール・フォトフレーム作り			中止
	7/27 (金)	レジン・スノードーム作り			3名
	7/30 (月)	流しそうめん・五右衛門風呂	宮川野外活動センター	そうめん	中止
	7/31 (火)	ブドウ狩り・ケーキ作り	川路ブドウ園・YMCA	お弁当	12名
	8/1 (水)	お弁当作り・水遊び	鴨池公民館・マリポート	手作りお弁当	中止
	8/2 (木)	一日乗車券の旅	市内各地	お弁当	4名
	8/3 (金)	ピザ・アイスクリーム作り	宮川野外活動センター	手作りピザ	7名
高学年	8/6 (月)	どんぐりトトロカレンダー作り・	つむぐ場	お弁当	中止
	8/7 (火)	竹水鉄砲・竹箸・箸袋作り			中止
	8/8 (水)	ペットボトル空気砲作り・小物入れ			中止
	8/9 (木)	北欧のモビール ヒンメリ作り			中止
	8/10 (金)	スタンドグラス風ランプ作り			2名
	8/27 (月)	テーブルマナー教室	サンロイヤルホテル	洋食コース	4名
	8/28 (火)	釣り・魚料理作り～魚を捌いてみよう!～	海釣り公園・鴨池公民館	魚料理	2名
	8/29 (水)	郷土料理作り～日本の食文化について学ぼう!～	鴨池公民館	郷土料理	中止
	8/30 (木)	世界の料理作り～世界の食文化について学ぼう!～	鴨池公民館	世界の料理	2名
	8/31 (金)	ウィンナー作り・ピザ作り	宮川野外活動センター	手作りウィンナー・ピザ	中止

夏休み限定のこの企画では、全20回中10回開催できました。少人数で行ったことで1人1人の満足度は高かったように思えました。繰り返し参加してもらった中で新たな友人関係もできていたようでありました。子どもたちや親が興味を持っている分野などの傾向を知る良い機会となりました。また、夏休み期間なので宿泊はないのかという問い合わせもあり、来年度は今回人気のあった活動と宿泊を伴ったものを企画する予定です。回数などを考慮しつつ、冬休みや春休みなどにもできないかを検討していきます。

